

ほろかない

Public Relations Magazine

Horokanai



◆ 卒業～旅立ちの日に

CONTENTS

- 平成30年度町長施政方針…2～7 ●平成30年度教育行政執行方針…8～10
- 平成30年度予算「幌加内町のまちづくり」…11～13
- News Spot（ニューススポット）…14～15 ●Information…16～19
- 新鮮！幌高…20 ●年金だより…21 ●こんにちは！保健師です…22
- NEW WIND（ニューウインド）…23 ●議会だより…24～31

<http://www.town.horokanai.hokkaido.jp/>

APRIL 2018

4

No.748

平成30年度 町長施政方針

幌加内町長 細川 雅 弘



平成30年3月7日(水)に開会されました、第1回幌加内町議会定例会において、細川町長より施政方針が示されましたので、その要旨をご紹介します。

はじめに

平成30年 第1回議会定例会の開催にあたり、新年度の町政執行の所信と予算編成方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年は、明治30年の入植から120年という節目の年でしたが、平成22年に空知から上川管内に移管した際の大きな政治課題でありました

①衆議院小選挙区の改正が施行され、選挙区が10区から6区へ移行されこと

②幌加内と上川管内を結ぶ公共交通「ほろみん号」が市町村運営有償運送として国から正式に認可を受け、有償での本格運行となったこと

③本年の4月からは労働基準監督署と公共職業安定所も上川へ移行すること

以上3点が決定しており、移管当時から大きな行政課題

が、各関係機関のご理解とご協力を得てようやく解決できたところでもあります。

その他の事業執行につきましても、議会を始め、皆様方の深いご理解とご協力のもとに予定していた事務事業につきまして順調に進捗、あるいは完成を予定しているところでございます。

予算取組方針

国では、「経済財政運営と改革の基本方針」、「未来投資戦略」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針」を基に、一億総活躍社会の実現に向けて、成長と分配の好循環を推進し、意欲と熱意のある地方公共団体に対しては、情報支援、人材支援、財政支援の地方創生版・三本の矢で強力に支援するほか、現在の取組をさらに深化させるとともに、地方創生を加速化するため「地方創生の新展開」を図るとしているほか、「経済再生なくして財政健全化なし」との基本方針の下、引き続き、手綱を緩めることなく本格的な歳出改革

に取り組み、歳出全般にわたり施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除するなど、財政の質の改善を図り、地方行財政についても地方交付税制度をはじめとした財政制度改革や広域化・共同化などの改革を推進するとしております。

本町の財政状況は、平成28年度決算で財政調整基金に2億3千万円を積み立てることができ、基金全体で50億5千万円の残高となりました。

一方、歳出における地方債年度末残高は、前年比2億9千万円増の47億8千万円となり、残高が増加しましたが、実質公債費比率につきましては、前年比1・6%減の0・6%となり、現在のところ健全といえる財政状況となっております。

しかしながら、平成30年度の歳入予算では、約5割以上を占める地方交付税の増額は見込めず、財政調整基金4億円の取り崩しにより、収支のバランスを計ったところであり、歳出でも、各公共施設の大規模な改修等が必要になることから、これまで以上に財源の確保と、的確な予算執行が必要不可欠な状況であります。

予算概要

一般会計、特別会計を合わせた総予算額は44億494万8千円で、前年対比8384万7千円の増、プラス1・9%となっております。

このうち、一般会計では、37億8554万円で、前年対比1億5826万1000円の増、プラス4・4%であります。



総務課関係

■ＩＰ告知端末機

平成23年4月から運用開始し、平成30年3月で7年を経過いたします。本機器のメーカーサポート期間が終了するため、今年から2年をかけて更新します。

更新については、北海道内の他の自治体とも連携を図り、共同での購入や利用の他、ＩＰ告知端末機の代わりに個人のスマートフォンやタブレットが使用できないかなども検討し、経費節減に努めたいと考えています。

■二酸化炭素排出抑制設備機器整備事業

各学校を含め11箇所の公共施設のLED化やボイラーを改修し、二酸化炭素の排出抑制を図る事業ですが、民間会社で機器導入工事を行い、そちらを10年間のリース契約で支払うこととしています。

■防災関係



気象警報やミサイル発射の情報伝達に使用する「全国瞬時警報システム」通称「Ｊアラート」を新型受信機へ更新する予定です。

また、例年行っております、自治区長・町内会長に参加いた

だき開催している「災害対策懇談会」や昨年実施した「自治区・町内会単位での避難訓練」を行い、災害時の協力要請、避難場所の確認など、引き続き災害時の対応の普及に努めます。

■深川地区消防組合

上川への移行については、町内関係機関及び関係市町と脱会・加入について充分なご理解を得ながら引き続き進めてまいります。

地域振興室関係

■ほろみん号

公共交通について、昨年10月から「自家用有償旅客運送」として本格運行を開始することができました「ほろみん号」は、運行率（96％）・日平均乗車数（6.6人）ともに、実証試験時とほぼ同じ利用をいただいているところです。平成30年度においても現状どおりの運行で予算を計上しているところですが、2月に開催した幌加内町地域公共交通会議において、「福祉割引」・「高齢者割引」・「回数券補助」の割引運賃が承認されました。

た。今後も利用者ニーズの把握とサービスの拡充を図っていくところです。

■そばの里大使及びアドバイザー

平成29年度をもって2年間の任期が終了となります。平成30年以降におきましても、「そばの里ほろかない」のPR活動・そば振興への助言をいただきます。調整をしているところです。

■共同販売拠点（アンテナショップ）

引き続き、首都圏に対するPR戦略の拠点として、東京都の浅草にあります「まるごとにつぼん」に出展していきます。



■地域おこし協力隊

地域福祉支援として、昨年8月から1名の地域おこし協力隊を採用しています。平成30年4月1日からは、そば振興として1名の採用が決まっております。加えて、観光振興業務・そば加工品の製造販売（振興公社）・農産物の試験研究（農業技術センター）における地域おこし協力隊6名を採用予定とし、予算の計上をしたところですが、特別交付税による財政措置が行われる間に、本町に定着していただける仕組みを構築したい所存です。

住民課関係

■交通安全対策

平成30年2月1日に交通事故死ゼロ1000日を達成し、先般、町交通安全推進委員会並びに交通安全協会に対し、土別警察署長より感謝状が贈呈されたところであります。

さらに記録更新を図るべく、本年度も交通安全協会や交通安全指導員の皆さんと連携を図り、交通安全運動を展開するとともに、町民総ぐるみで交通安全



全を誓い、交通事故防止に努めてまいります。

■町営住宅

建て替え等により空き家となりました緑ヶ丘団地1棟2戸と、老朽化しております旭団地1棟2戸、政和団地2棟4戸の解体工事を実施するほか、計画的に進めております町営住宅の屋根塗装工事を本年度15棟30戸実施するところです。

■一般廃棄物最終処分場

平成27年度より準備を進めてきております、一般廃棄物最終処分場の次期施設の整備についてであります。現在、平成34



年度からの供用開始を予定し、国からの交付金を活用するための準備を進めており、本年1月に「幌加内町地域循環型社会形成推進地域計画」を国に提出しました。

本年度は、施設整備の基本設計を行うこととしています。

■一般廃棄物処理施設

屋外煙突が平成19年11月の供用開始から10年が経過し、耐火物等の痛みが著しいことから本年度、修繕を行うこととしています。

■国民健康保険

昨年12月22日に閣議決定された「平成30年度税制改正の大綱」にて、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額の引き上げや、軽減措置に係る所得判定基準の引き上げ等が示されており、国会において法案が可決された後、税条例の改正案を提案する所存であります。

また、本年4月1日から都道府県が運営主体となり、新たな国民健康保険制度が始まります。

安定的な財政運営や効率的な事業の確保等、制度の安定化を目指すこととなります。町では、被保険者証の発行などの資格の管理や保険料率の決定、賦課・徴収、保険給付、保健事業など地域におけるきめ細かい事業を引き続き行ってまいります。

■後期高齢者医療保険

北海道後期高齢者医療広域連合では、平成30年度及び平成31年度における後期高齢者保険料において均等割額・所得割率・保険料賦課限度額の引き上げや、被用者保険の被扶養者であった被保険者に対する均等割額及び所得割り額の改正等が、

去る2月23日開催の北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会において可決されたところであります。これにより、保険料の若干の増減が生ずることになるものです。

保健福祉課関係

■子育て支援

安心して子育てができる環境整備として、保育料の無償化を継続してまいります。また、妊産婦交通費助成事業を同様継続し、出産に関する経済的負担軽減を図ります。

■第7期幌加内町高齢者福祉・介護保険事業計画

平成29年度に策定し、平成30～32年度までの本町の高齢者の自立支援と要介護者状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されることを目指します。

介護保険料の基準額については、将来的にサービスを安定的に提供するためサービス事業量の推計を行い、準備基金の取り崩しを行いながら、急激な保険料増による被保険者の負担とならないために、現行の4,500円から約4.4%アップの4,700円として進めてまいります。

■第5期幌加内町障害福祉計画

平成29年度に策定し、平成30～32年度までの3か年、障害児者の支援強化、差別解消、地域における自立した生活の支援充実などを目的に障害者福祉の充実に努めてまいります。

本格的な介護予防・日常生活支援事業いわゆる総合事業の移行時期となり、現在の事業だけ



産業課関係

■農業全般

日本型直接支払制度の中山間地域等直接支払交付金及び環境保全型農業直接支払補助金、多面的機能支払補助金について

は、今年度も継続して行います。

■土地改良事業

平成29年度末で道営幌加内西部地区畑地帯総合整備事業が終

了し、残り道営幌加内中部地区及び東部地区経営体育成基盤整備事業の2地区につきましては、引き続き事業に取り組み、幌加内町農業の基盤安定を図ってまいります。

また調査費を計上しており、また道営幌加内北部地区畑地帯総合整備事業については、今年度採択となる見通しであります。

町単独事業の農業振興奨励補助金については、前述した国の

ではなく、民間事業者、ボランティア、NPO法人など、多様なサービス提供が可能となるため、サービスの内容を諮問する協議体を、平成29年度に幌加内町保健・医療・福祉総合サービス推進会議構成員により立ち上げたところです。

平成30年度においては、地域包括支援センター等と連携し

て、生活支援サービスの体制整備や担い手の養成、関係者のネットワーク化を具体的に推進してまいります。

■介護人材確保事業

各事業者への現行制度についてのアンケート調査を実施し、各介護事業者、実際に入職され

た方を交え、本制度についての座談会を実施しているところ

です。本施策については、全国で

同様な事業を実施している4自治体と広域連携を組み、地方創生推進交付金事業を活用して、

常に最新の取り組みに関する情報を共有し、幌加内町に生かせる部分はないか施策の進展に努めてまいります。

■保健事業

各種健診・予防接種等を例年通り実施し、町民の皆様が、安心・安全に暮らせる環境整備に傾注してまいります。

このほか、公共施設修繕計画に基づき老人福祉寮「福寿荘」の蓄熱暖房機が、老朽化してき

■診療所について

病床機能を「地域密着型特養」として、外来機能を直営の診療

所として移管し、まる1年が経過しましたが、これまで特に大きな問題もなく推移しているところであります。

今後も、診療所運営に伴う町民の皆様への不安感を解消すべく、施策を講じて行く所存でありますので、ご理解を賜りたく存じます。



施策である環境保全型農業直接支払補助金や多面的機能支払補助金に伴う町の負担が増加していることもあり、事業の必要性、継続性、効果を吟味しつつ積極的な運用を進めてまいります。

■水産関係

朱鞠内湖の遊漁事業の振興を図るため、新たに「水産業振興奨励補助金」を創設し、孵化放流事業等、ワカサギやイトウに引き続き支援してまいります。

昨年度のふるさと納税を原資とする基金積立金についても、その活用も合わせて検討してまいります。

■林業関係（町有林）

平成28年度より計画的に間伐事業や作業林道の整備を関係機関と現地調査や協議を進めていますが、それら調査を効率的に進めるため、ドローンを一機購入し、調査範囲の拡大や作業の効率化を図ってまいります。

■商工関係

今年度も引き続き、商工業振興奨励補助金を計上して、商工業事業者に支援してまいります。

■観光関係

前述した地域おこし協力隊を視野に観光協会業務の強化を考えております。また所管施設の修繕等については、三頭山の案内標柱設置や経年劣化の激しい観光看板の修繕を考えています。

昨年検討委員会で答申をいただいたせいわ温泉ルオントについては、機械設備の改修に伴う実施設計を始めレストランのテーブル・椅子・カーテンなど、出来るものから随時改善をしたいと考えております。

建設課関係

■町道・河川・橋梁関係

町単独事業として、北七号線舗装新設工事、四丁目線側溝改修工事及び、東二条北線側溝改修工事、南五号線外1側溝改修工事を実施いたします。

河川につきましては、美深越沢川河岸工事を実施いたします。

補助事業では、新たに下幌加内線道路改築事業を実施します。

また、昨年に引き続き橋梁長寿命化計画を進め、橋梁補修工



事2橋、橋梁補修設計業務委託1橋と、31橋の橋梁点検業務委託を実施いたします。この橋梁点検は5年に1回の頻度で点検することが義務化され、今年度が最終年となり、必要に応じて橋梁補修工事を進めてまいります。

町道・河川の維持管理業務につきましては、各自治区の要望を踏まえ、自治区と十分協議しながら実施してまいります。

■住宅関係

住環境の向上と定住の促進を図るため、引き続き「幌加内町持ち家建設促進条例」に基づき持ち家2戸分と雇用促進住宅8戸分の奨励金を予算計上しております。

■簡易水道事業

新生生第1・2地区簡易給水施設解体工事、幌加内簡易水道下幌加内地区水道管布設替え工事を実施いたします。

■下水道事業

国から平成32年度までに、農業集落排水施設の適正な維持管理及び更新等を推進するため、最適整備構想の策定を求められ

教育関係

■教育全般

教育環境を取り巻く社会変化に加え、今後も過疎化の進行が予想されますが、教育・文化活動が衰退しないよう、「幌加内町教育行政大綱」のもと、教育課題の共有や教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について進めてまいります。

■学校教育

平成28年2月策定の「学校教育推進計画」のもと、未来を創造する豊かな人間性を育むため、学校・家庭・地域・行政が一体となり、児童・生徒の実態を踏まえ特色ある教育活動を展開してまいります。

小・中学校においては、「コミュニティスクール」を導入し、今まで以上に家庭・地域・学校が一体となって幌加内町の子どもたちを育む学校づくりに向け



取り組んでまいります。

また、教材費等の保護者負担の一部を解消するため、PTA公費負担解消補助金の増額を計上しております。

高等学校については、ICT教育の充実、六次産業化への取組など、小規模校ならではのきめ細やかな指導や特色を活かした学校運営を実践し、引き続き生徒募集の強化に努めてまいります。

■社会教育

少子高齢化による社会活力低下などにより文化活動が衰退しないよう、一人ひとりが生涯にわたって学び続けられ、その成果を地域社会に還元できる生涯学習社会の構築を図ることが必要であります。

平成27年4月策定の「社会教育中期計画」のもと、生涯教育



の観点に立った社会教育の推進

を図り、明るく豊かな町づくりを進めるため、今後においても、生涯学習センターを本町の文化・学習活動の拠点として、学習機会の提供や学習環境の整備に取り組んでまいります。

保健体育事業であります、町民の誰もが身近にスポーツに親しむ事ができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域のスポーツ環境整備を図り、各種スポーツ団体の活動や大会の支援に努めてまいります。

社会教育施設については、ほろたちスキー場リフトの整備について計画的に実施し、安全な運行を確保してまいります。

このほか、教育行政の具体的な内容につきましては、教育長より教育行政執行方針でご説明申し上げます。

むすびに

以上、町政運営を進めるにあつての、私の所信の一端と各分野の大綱を述べさせていただきましたが、不肖私は、平成27年4月、町長としての重責を担わしていただき、本年は、1期4年目の締めくくりの年を迎えたところであります。

この間、議会の皆様を始め、町民の皆さんに多くのご協力とご指導をいただいて今日があるわけですが、地方創生として雇用の増加・地域の活性化に繋がる政策とともに、今年の記録的大雪に見舞われたとおり豪雪等のハンディが大きな本町にあつて、このハンディをカバーし、すみやすい町づくりを進めなくてはなりません。

また、当初予算には計上しておりませんが、病院跡地の利用計画、中央公民館の耐震化に伴う機能強化、朱鞠内のコミセン関連施設の検討等、大きな課題があり、これらの道筋も示す必要があります。

冒頭に申し上げましたとおり、自主財源で賄う修繕や大規

模改修が今後増え、財政的にも大変厳しい中ではありますが、第7次総合振興計画の着実な進展を図っていく上で、「バランスとメリハリを考慮しながら活力ある幌加内」「安全、安心で暮らせるふるさと幌加内」を目指し全力投球で取り組んでまいります。

町民の皆様、町議会の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、町政の執行方針といたします。



平成30年度 幌加内町教育行政執行方針

幌加内町教育長 児 玉 博



はじめに

平成30年第1回町議会定例会の開会にあたり、幌加内町教育委員会所管の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

少子・高齢化や人口減少、高度情報化などによる社会の変化が人々の予想を超えて進展している中、本町が持続的に発展し、地方創生を実現するためには、地域の発展を支える教育の役割が益々重要となっています。このような認識の下、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てる教育が必要となります。

その中であって、昨年行われ



た全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力調査において、北海道の状況については、全国平均との差が縮まるなど改善の傾向が見られますが依然として、全国平均に届いていない状況にあります。

このことから、学校や家庭、地域と連携した取り組みにより、子どもたちの力をより一層発揮させる必要があると受け止めています。

本町においては、次代を担う子どもたちの一人ひとりの個性を伸ばし、ふるさとに誇りを持ち、互いに支え合いながらたくましく生きていく力を身につけ、未来を創造する豊かな人間性を育むため、幌加内町教育行政大綱のもと、教育の一層の振興と充実に向けて最善を尽くしてまいります。

基本方針

学校教育

平成28年2月に5年間の中期的な計画として「学校教育推進計画」を策定したところであり

ます。本計画では、めざす子どもの



姿を「ふるさとに誇りを持ち、人々と支え合い、たくましく生きる、幌加内の子」とし、「確かな学力の育成」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」を推進の重点としており、各学校において具現化が図られるよう、きめ細やかな施策の展開を推進するとともに、地域との積極的な連携を図り、信頼性を高め、開かれた学校づくりの推進に努めてまいります。

町内各学校の状況

平成30年度における町内各学校の状況について申し上げます。

本年度の小学校は、幌加内小



学校で、普通学級5学級と特別支援学級3学級の合わせて8学級、朱鞠内小学校で、普通学級3学級と特別支援学級1学級の合わせて4学級となり、小学校全体では、12学級となり、児童数は60名の予定となります。

中学校は、普通学級3学級と特別支援学級1学級の合わせて4学級で、生徒数は38名の予定となります。

小・中学校義務教育

昨年3月、文部科学省は教育課程の基準となる小中学校の学習指導要領を改訂しました。

小学校が平成32年度、中学校が33年度の全面実施に向けた移行期間として、新学習指導要綱の周知徹底や教科書採択に向けた準備が進められているところがあります。

昨年から外国語教育の充実を図るため、幌加内町立学校の英語指導手の配置日数を拡大しているところですが、今後も教材の整備など教育環境の充実を図ってまいります。

また、こうした学校教育の充実とはもとより、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成やふるさとの愛着を育む教育の推進を図るためには、家庭・地域・

学校が連携する取り組みを一層進めていくことが重要と考えております。

そこで、本年4月より地域と共にある学校づくりを目指し、学校からの情報発信を図っていくとともに、家庭・地域・学校が一体となって幌加内町の子どもたちを育むことを目的とした「コミュニティスクール」を導入いたします。

コミュニティスクール

学校運営協議会を設置している学校のことを言いますが、本町では、全ての小・中学校を対象とした学校運営協議会を合同で設置し、学校間の連携や地域とのかかわりなどの課題について、保護者や地域住民と子供たちの義務教育9年について話し

合う場とし、意見や要望を学校運営に反映させ、より良い教育の実現に向けて取り組んでまいります。

高等学校

全国的な少子化傾向は一段と強まっており、生徒数は減少の一途をたどり、生徒募集については、大変厳しい状況下にあります。

このような中、上川管内編入を契機に、旭川市並びに近隣市町村や北空知管内を中心に各中学校訪問や、一日体験入学の実施、個別での対応を含めた学校見学会など生徒募集の強化に努めてまいりました。

一昨年より、音威子府村、下川町、剣淵町、幌加内町の上川北部4町村の高等学校が連携

し、札幌市近郊の中学校や保護者を対象として、札幌駅前地下広場において学校紹介展示や学校説明会を実施しております。

また、本町の特産でもあります「そば」を活用した設置科目のそば授業や、生産から販売までの六次産業化への取り組みを



実践した幌高商店会、インターネットでの商品販売、昨年から生徒一人一台タブレットパソコンを貸与して行う授業など、特色を活かした学校運営の要因もあり、多くの中学校からご支持を頂いているところでもあります。

近年の生徒個々における様々な問題に対応するため、学校や日常生活における問題に直面する苦しみや悩みを生徒が取り巻く社会環境を視点として支援する、社会福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー2名を配置し、また、従前からの臨床心理士によるスクールカウンセリングによる心のケアと合わせ、総合的な対策を図っているところでもあります。

教育委員会としても、将来を担う子どもたちの多様なニーズ



を捉え、各関係機関・地域とも連携を図り、小規模校ならではのきめ細やかな指導や、ICT教育により個々の学力に合わせた学習など、農業を通じて、時代のニーズに合った実践的な教育を通して人間形成の拠点となっていく学校経営のため、学習指導や生徒指導の分析、また町外からの生徒を受け入れている溪雪寮での生活におきましても、環境整備を行い、魅力ある幌加内高校の充実に努めてまいります。

学校給食

国は、確かな学力と豊かな心を育てることに加え、食育の推進を図り、心身の健康に重要な食生活の大切さを教育に取り組むこととしております。

現在、栄養教諭を配置して、食育教育の充実を図っているところであり、今後においても、食中毒や異物混入を未然に防止するため、共同調理場の衛生管理を徹底し、食物アレルギーを有する児童生徒には代替食の提供を行い、安全で安心な学校給食に努め、近年、野菜等の価格高騰の影響はありますが、本年

度においても給食費を据え置き、地元産米を使用した米飯給食を週4回実施し、地元産米の採用に努め、給食米の購入に対する助成措置を引き続き実施してまいります。

社会教育

社会教育は、生涯学習社会の中核として、地域全体に関わる様々な課題を解決するため、社会教育中期計画のもと、事業展開を図ってまいります。

町民の方々が学んだことを地域に活かせる学習の推進、地域資源を活かした教室の開催、各種スポーツ活動の支援、生活文化の向上を目指した講座の開設等、社会教育関係団体との連携を深め、町民の皆さんとの協働の中で、生涯教育に取り組んでまいります。

本町の社会教育活動の拠点であります生涯学習センターの機能を十分に活かして事業推進に努め、町民の皆さんが自主的に行う文化・芸術活動への支援に取り組むとともに、各地区公民館を中心とした地域の特色ある活動にも支援をしてまいります。

中央公民館において耐震診断

が完了しましたので、耐震化改修に向けてのアスベスト含有調査費を計上しております。

図書室においては、新刊案内をはじめ、季節に応じたお薦めコーナーの設置等、楽しく本や視聴覚資料に触れ合える環境づくりを心がけてまいります。

さらに、新生児に絵本をプレゼントするブックスタート事業や町内各地区の巡回図書など、身近に本と触れあえる機会の増大に向けて引き続き取り組んでまいります。

保健体育

スポーツと健康の関わりについては、心豊かで明るい生活を続けるためにも、自分にあったスポーツを継続することが最も大切なことであります。

本町の多雪を活かした冬期間のスポーツであるスキートの楽しさを、町民に知っていただくことを目的に、町スキー連盟指導員会の協力により実施しております幼児・児童・一般向けのスキー教室の開催、また、児童・生徒を対象に実施しております土曜日・日曜日・祝日のリフト券の助成やシーズン券の助成は

大変好評を得ており、本年度においても引き続き実施してまいります。

今後ともスキー連盟をはじめ、関係機関と連携を図り、町技でありますスキートの普及、振興に努めてまいります。

ほろたちスキー場においては、全国的にスキー人口が減少しており、経営は厳しい状況にありますが、近年、雪の量や雪質の良さが口コミで広がり、特に非圧雪斜面の滑走が人気となっており、このような新たな客層にも着眼し、より多くの集客と経営安定に繋がるよう今後とも努めてまいります。

また、ほろたちスキー場のリフトですが、設置から25年が経過しておりますので、計画



的に整備し安全なリフト運行を確保してまいります。

今後とも社会教育施設の整備や維持、関係団体の活動支援について、より一層の連携を計りながら事業推進に取り組んでまいりますと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

育英事業

本町の奨学資金事業は、経済状況によって就学の機会が奪われないようにするため、本町に住所を有する学生等の育英を目的として、本年度もこれまでと同様、新規貸付者を大学、各種学校、高等学校についてそれぞれ予定しております。

むすびに

以上、平成30年度の教育行政の執行について申し上げましたが、町民の皆さんの学習環境の整備や学習機会の提供に向けて、鋭意取り組んでまいりますので、町議会並びに町民の皆様のお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。行政執行方針といたします。

平成30年度予算 幌加内町のまちづくり

◆◆◆ 予算総額44億494万8千円 ◆◆◆

平成30年度の予算は、IP告知端末機の更新経費や移住による人材育成事業、一般廃棄物処分場基本設計事業や洪水ハザードマップ作成事業などを中心に計上されました。

今年度の主な予算の内容や新規事業を町民の皆さんにお知らせします。

なお、各課で担当しております補助事業や補助金は5月号でお知らせする予定です。

◆平成30年度各会計予算統括表

会 計 別		平成29年度(当初)	平成30年度	比較増減額	比較増減率
一 般 会 計		36億2,727万9千円	37億8,554万円	1億5,826万1千円	4.4
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3億468万円	2億3,444万4千円	△ 7,023万6千円	△ 23.1
	後期高齢者医療特別会計	3,139万2千円	3,373万8千円	234万6千円	7.5
	介護保険特別会計	2億286万2千円	1億8,957万1千円	△ 1,329万1千円	△ 6.6
	簡易水道事業特別会計	7,716万1千円	7,861万5千円	145万4千円	1.9
	下水道事業特別会計	7,198万3千円	7,738万7千円	540万4千円	7.5
	奨学資金特別会計	574万4千円	565万3千円	△ 9万1千円	△ 1.6
合 計		43億2,110万1千円	44億494万8千円	8,384万7千円	1.9

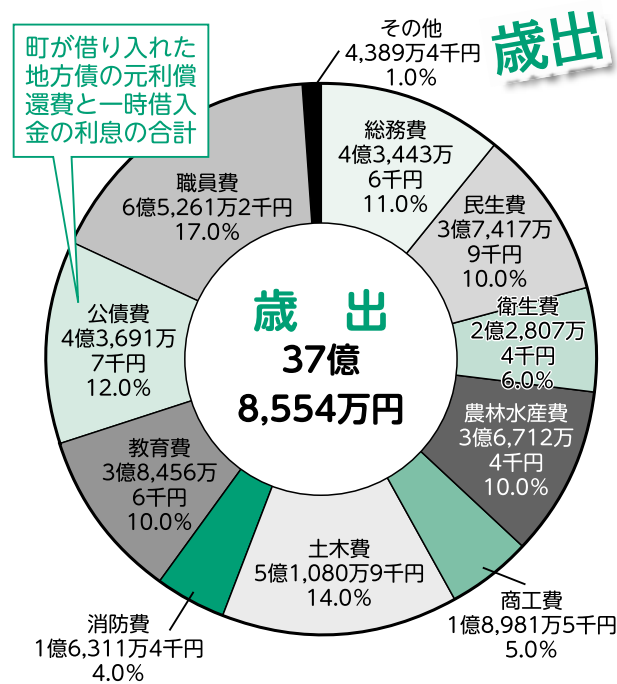
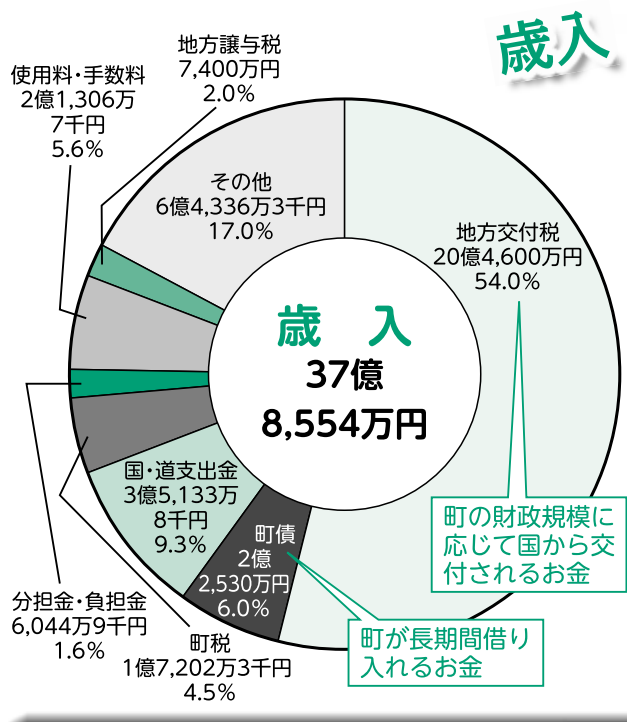
一般会計とは

産業・福祉・教育・道路サービスなどをすすめる基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計とは区分し、収入・支出する会計で、本町では国民健康保険や介護保険など6つの会計があります。

◆一般会計予算の概要 一般会計総額 37億8,554万円



平成30年度一般会計で行われる主な事業を紹介します。

総務費関係

- ほろみん号運行事業 ————— 781万9千円
平成29年10月より、本格運行となった町民向けのバスの運行を行います。
(月曜日～金曜日まで毎日2便運行し、完全予約制の運行となります。)
- J R跡地地籍測量事業 ————— 3,000万円
平成7年廃線の旧深名線跡地測量委託事業を継続します。用地確定後、町民等希望者に売買予定です。(平成28年度より3年計画)
- 民間賃貸住宅建設補助金事業 ————— 2,000万円
民間活力を引き出し、住環境の向上と良質な賃貸住宅を整備します。
(平成30年度までの補助制度となります。)
- 二酸化炭素排出抑制機器借上事業 ————— 787万2千円
リース手法を用いてCO₂削減のためLED・ボイラーを一括して改修を行います。
- 政和8線奥林道整備事業 ————— 412万6千円
町林道入口拡幅、砂利敷きを行います。
- I P告知端末機更新事業 ————— 8,113万円
平成23年から運用を開始したI P告知システムを更新します。(平成30年度より2年計画)
- 戸籍システム更新事業 ————— 1,630万8千円
現行システムの導入から5年が経過し、機器の経年劣化に伴うシステム障害や業務停止のリスクを回避するため更新します。
- 移住による人材育成事業 ————— 3,228万5千円
人材育成事業の取り組みで、地域おこし協力隊6名を嘱託職員として採用します。
幌加内町観光協会(1名)、(株)ほろかない振興公社(2名)、幌加内町農業技術センター(3名)

民生費関係

- 福寿荘蓄熱式暖房機取替工事 ————— 327万3千円
現在使用している暖房機の更新を行います。(事務室1台、食堂2台、居室8台)
- 居住区各室蓄熱式暖房機取替工事 ————— 374万8千円
現在使用している暖房機5台の更新を行います。(平成29年より2年計画)
- 乳幼児等医療費事業 ————— 242万6千円
子育て支援、環境の充実を図るため、中学3年生までの医療費全額無料化とします。
- 歯科診療所ボイラー取替事業 ————— 411万5千円
暖房用2台、給湯用1台の取替えを行います。
- 認可外保育所運営事業 ————— 477万3千円
町内には、認可保育所1カ所、認可外保育所1カ所の2カ所の保育環境しか無く、認可外保育所への運営費についても、保育士の処遇改善を図るため強化・充実を図ります。
- 保育料負担軽減事業 ————— 1,200万5千円
現在の保育料基準は、国の保育料基準の60%(7・8階層は70%)とし、軽減しているところですが、平成25年度より子育て支援の拡充と公平性の観点から、円滑な就学支援を目的に年長5歳児の保育料の無料化を実施しています。さらに平成27年5月より完全無償化(町民)を実施しています。

衛生費関係

- 廃屋撤去促進事業 ————— 250万円
景観に著しく支障を与えている廃屋を撤去し、美しい景観の形成と生活環境の安全対策を講じるため、撤去費用に対し、50万円を限度とする助成事業を実施します。(補助率2/3)
- 一般廃棄物処分場基本設計事業 ————— 2,986万2千円
測量調査・地質調査・生活環境影響調査・基本設計を行います。

農林水産業費関係

- 道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業負担金 ————— 4,868万8千円
振興、雨煙別、上幌加内、東栄地区一円
- 道営幌加内東部地区経営体育成基盤整備事業負担金 ————— 1,768万8千円
下幌加内、沼牛、弥運内、振興、平和地区一円

商工費関係

- プレミアム付商品券発行補助事業 ————— 1,000万円
町内消費の振興策として、商工会が発行するプレミアム付商品券事業に対し補助を実施します。
1万円で額面1万2千円の町内のみで使用可能な商品券を販売します。販売時期は、夏と冬の2回とし、使用期間は3ヶ月間となります。
- 観光プロモーション広告事業 ————— 79万8千円
観光プロモーションとして春夏秋冬のチラシを作成する予定です。
- 農村公園周辺施設塗装工事 ————— 227万9千円
管理棟、トイレ、炊事場、コタハウス（焼肉施設）などの塗装を実施する予定です。

土木費関係

- 橋梁補修・点検事業 ————— 5,918万5千円
設計（1橋）、点検（31橋）、補修工事（2橋）
- 町道調査設計事業 ————— 2,500万円
- 四丁目線側溝改修事業 ————— 675万円
- 北七号線舗装新設事業 ————— 1,784万2千円
- 東二条北線側溝改修事業 ————— 1,912万7千円
- 下幌加内線道路改良事業 ————— 1,200万円
- 南五号線外1側溝改修事業 ————— 769万円
- 美深越沢川護岸事業 ————— 151万2千円
- 持ち家建設促進奨励事業 ————— 4,850万円

消防費関係

- 洪水ハザードマップ作成事業 ————— 230万2千円
平成27年に作成しました、洪水ハザードマップを国土交通省が公表する「想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等」に合わせて更新します。（冊子P16+地図を予定）
- J-ALERT新型受信機更新事業 ————— 326万2千円
国のJ-ALERTシステムの変更に伴い、既存システムを更新します。

教育費関係

- 朱鞠内小学校教室改修事業 ————— 788万4千円
特別支援学級設置に伴い、既存の教室を改修します。
- 添牛内児童送迎車購入事業 ————— 368万6千円
朱鞠内小学校に通う児童数が増加し、既存の車両では一度に送迎ができないため、児童数に合わせた車両を購入します。
- 幌加内中学校トッライト改修事業 ————— 1,757万2千円
昭和61年に整備してから31年が経過し、老朽化による不具合が生じているため、長尺板金屋根に変更し、照明器具の改修を行います。
- ほろたちスキー場索道支柱整備事業 ————— 725万8千円
索道支柱及び起点・終点などの塗装を行います。



3月1日 幌加内高等学校



3月13日
幌加内中学校



3月15日 幌加内小学校



3月24日
双葉保育園



3月22日
みゆき保育所



祝
卒業
& 卒園



平成29年度 卒業・卒園者数

学 校 名	卒業生数
幌 加 内 高 等 学 校	17 人
幌 加 内 中 学 校	20 人
幌 加 内 小 学 校	12 人
朱 鞠 内 小 学 校	0 人
保育園・保育所	卒園児数
双 葉 保 育 園	3 人
み ゆ き 保 育 所	2 人





高橋知事が 大雪被害を視察

3月12日(月)、高橋はるみ知事が本町を訪れ、大雪被害の状況を視察しました。

今冬は、従来の本町の積雪記録269センチを30年ぶりに更新し、2月25日(日)に積雪324センチを記録。この記録は北海道で記録している積雪312センチを48年ぶりに更新する豪雪の年となりました。

高橋知事は、「道内各所で災害が多発しています。気象台より災害の発生が予見される情報が入れば、自衛隊、リエゾン、開発局、また役場の方々と連携して、どんどん協力していきます。」と述べ、その後、市街地の状況を視察しました。



全国から大雪災害支援金を受け付けています

本町では、北海道の最高積雪を48年ぶりに更新する大雪に見舞われ、平年比1.9倍程度もの積雪増となり、今回の災害対策に対し、広く支援を呼びかけさせていただきました。

その結果、ふるさと納税による災害支援の寄附を募ったところ、3月28日現在で380万円超の寄附を賜りました。またご一緒にご厚情と力強いメッセージを寄せていただき、感謝申し上げます。

また、株式会社アサヒ建設コンサルタント(代表取締役社長 竹林恭介)様から現金50万円や株式会社グリーン測量(代表取締役 和田春美)様から5万円、共友資材株式会社様より3万円のご寄附を頂戴しました。



(株式会社アサヒ建設コンサルタント様)

賜りましたご浄財はご趣旨に体して有効適切に使用させていただきます所存であります。

双葉保育園とみゆき保育所の 仲良し交流会♪

毎年の恒例行事である「移動ふれあい保育」が、2月21日(水)にみゆき保育所で行われ、双葉保育園から年長児3名とみゆき保育所の園児が仲良く遊びました。

交流会では、双葉保育園の園行事で使用した「お店やさんごっこ」の品物をたくさん用意し、お店屋さんとお客さんに分かれてお買い物を楽しみ、その後、「なんでもバスケット」などの遊びで歓喜の声が飛び交い、楽しい時間を過ごしました。



初参加の幌高生と一緒に 下の句歌留多大会を楽しみました

町内の愛好者で構成する「幌加内町下の句歌留多愛好会(小林四郎会長)」は2月28日(水)、町高齢者コミュニティセンターで全町歌留多大会を開催しました。

大会には7チーム、21人が参加し、初参加の幌加内高校生もベテランに負けず、機敏な動きで札を追うなど、すばやく、正確にカルタをとる姿がとても印象的でした。

なお、大会結果は以下のとおりです。

優勝「ぎり立組」(清原 覚・小林紀子・藤井記代子)
準優勝「松も組」(小林四郎・野口房枝・南谷由美子)
三位「雲の組」(篠原光義・前田千恵子・椋井巴磨子)



国税専門官募集

札幌国税局では、国税局や税務署において、税のスペシャリストとして活躍する国税専門官を募集しています。平成30年度の採用試験の概要は、次のとおりです。

- 【受験資格】 昭和63年4月2日から平成9年4月1日生まれの者
平成9年4月2日以降生まれの者で大学を卒業する見込みの者など別に定める者
- 【申込受付期間】 ※申込みはインターネットにより行ってください。
3月30日(金)～4月11日(水)〔受信有効〕
申込専用アドレス <http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
- 【第1次試験】 基礎能力試験、専門試験（多肢選択式及び記述式） 6月10日(日)
- 【第1次試験合格者発表日】 7月3日(火)
- 【第2次試験】 人物試験及び身体検査 7月12日(木)～7月19日(木)のうち指定する日
- 【最終合格者発表日】 8月21日(火)
- 【お問合せ】 ご不明な点は、札幌国税局人事第2課採用担当（TEL011-231-5011 内線2315）又は最寄りの税務署（総務課）にお尋ねください。

労働基準監督署及び公共職業安定所の管轄区域の変更

平成30年4月1日から、幌加内町の管轄が滝川労働基準監督署から旭川労働基準監督署へ、滝川公共職業安定所深川分室から旭川公共職業安定所へ、それぞれ変更となります。

これにより、幌加内町に所在地のある事業主、お住まいの皆様の各種手続き、届出等の提出先が変更となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

【4月からのお問い合わせ先】

旭川労働基準監督署 〒078-8508 旭川市宮前1条3丁目3-15
TEL：0166-35-5901 FAX：0166-35-6599

旭川公共職業安定所 〒070-0902 旭川市春光町10-58
TEL：0166-51-0176 FAX：0166-54-6600

士別警察署かわら版

～春の交通安全運動の実施～

○新入学期を迎える子供の交通事故防止○

4/6(金)から4/15(日)までの間、「春の交通安全運動」が実施されます。

ご家庭や地域ぐるみで、交通安全を意識して、交通事故から子供や高齢者を守りましょう。

■警察官採用試験情報■

- 願書受付 3/1～4/23
 - 試験日 5/20(日)
 - 試験地 旭川、名寄等
 - 採用人員
A区分 160名（大学卒業・見込）
B区分 50名（A区分以外）
- 問い合わせは士別警察署まで



士別警察署 (代)23-0110



政府統計

平成30年 工業統計調査を 実施します

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。



工業統計キャラクター・コウちゃん

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

調査時点は30年6月1日です。

調査票へのご回答をお願いいたします。

経済産業省・都道府県・市区町村

あなたが被害に 遭わないために

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 一人では野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 薄暗いときには行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す
- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る

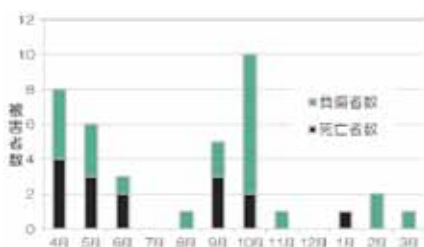
北海道環境生活部
環境局生物多様性保全課

春のヒグマ注意特別期間

4月1日(日)～5月31日(木)

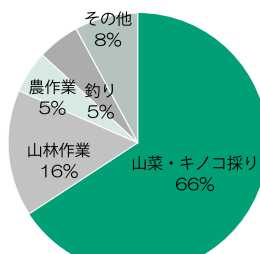


人身被害は春と秋に多く発生！



発生月別のヒグマによる人身被害者数
(平成元年1月～平成30年2月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

山菜採りは被害に遭いやすい！



被害発生時の被害者の活動
(平成元年1月～平成30年2月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

● 電話相談 **0120-3882-56**
(無料、毎日24時間対応)

● メール相談 **doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp**
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

● 来所相談 **子ども相談支援センター** 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

※センターの Web ページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。 次の URL からご覧ください。

URL:<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>



全国健康保険協会(協会けんぽ)からのお知らせ

■保険料率改定のお知らせ

平成30年3月分(5月1日納付期限分)より健康保険料率は10.25%(プラス0.03%)、介護保険料率は1.57%(マイナス0.08%)となります。健康保険料率の引上げに関しまして、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

■「協会けんぽの検診」のご案内

協会けんぽ北海道支部では年度内に1回、加入者の皆様の健診費用の一部を補助しています。35歳～74歳の被保険者(ご本人)さまへは、がん検診を含めた充実した健診項目の「生活習慣病予防健診」を40歳～74歳の被扶養者(ご家族)さまへは、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」と二つの健診をご用意しております。

生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のためにも年に1度は健診を受けましょう。

【お問合せ】

全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部 TEL011-726-0352

ゴールデンウィーク期間における ごみの収集作業及び一般受入れのお知らせ

日 に ち	予 定	
4月30日(月)	ごみ収集 一般受入	祝日の振替休日のため収集・受入を行いません
5月1日(火)	ごみ収集 一般受入	収集地区：A・B地区 収集予定表のとおり受入を行います(午後1時～午後4時30分まで)
5月2日(水)	ごみ収集 一般受入	収集地区：C地区 収集予定表のとおり受入を行いません
5月3日(木・祝)～ 5月6日(日)	ごみ収集 一般受入	日曜・祝日のため収集・受入を行いません

急募!! 幌加内消防団員

消防団員になってみたい、住むまちのことだから頑張りたい
とお考えの方。

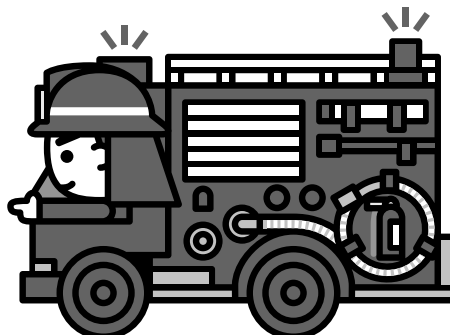
消防団員は・・・

- 非常勤特別職地方公務員となります。
- 火災・風水害などの災害に対し、消防団長の命令で出動をします。
- 月1回程度の機械取り扱いや災害対応技術を身につけるための訓練があります。
- 消防団活動中に負傷した場合の公務災害補償制度があります。
- 必要な被服等が貸し与えられます。
- 年額報酬や出動に応じた手当が支給されます。
- 一定期間以上勤務して退団した際には、退職報償金が支給されます。

幌加内消防団は現在、高山友樹団長以下41名が所属しており、消防車6台で各種災害に備えていますが、年々上がる平均年齢や絶対的な消防団員数が少ないことなどから、今後現場活動の支障が心配されています。

消防団員になるためには一定の条件があります。詳細は、お知り合いの消防団員または幌加内支署消防団係までお問い合わせください。

お問い合わせ先：深川地区消防組合深川消防署幌加内支署消防団係
(電話：35-2246)



自分のまちを災害から守るために、消防団は、いろいろな人たちのチカラで成り立っています。

「高齢者肺炎球菌感染症の予防接種のお知らせ」

肺炎球菌による肺炎は、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。肺炎球菌は肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎、髄膜炎などを起こす細菌の一つです。特に高齢者の肺炎の約半数は、肺炎球菌が原因とされています。

高齢者肺炎球菌ワクチンは、約90種類に分類される肺炎球菌のうち病気を引き起こしやすい23種類の菌の成分を含んでいるため、肺炎の罹患や重篤化に対する予防効果が期待されます。

高齢者肺炎球菌の予防接種を実施しています

平成26年10月より、高齢者肺炎球菌予防接種が定期予防接種となり無料で接種できます。過去に接種した方は対象となりません。

平成30年度定期予防接種の対象者

①平成30年度（平成31年3月31日まで）に以下の表の年齢に該当する方

65歳となる方	昭和28年4月2日～昭和29年4月1日	70歳となる方	昭和23年4月2日～昭和24年4月1日
75歳となる方	昭和18年4月2日～昭和19年4月1日	80歳となる方	昭和13年4月2日～昭和14年4月1日
85歳となる方	昭和8年4月2日～昭和9年4月1日	90歳となる方	昭和3年4月2日～昭和4年4月1日
95歳となる方	大正12年4月2日～大正13年4月1日	100歳となる方	大正7年4月2日～大正8年4月1日

平成30年度までは、経過措置として5歳刻みの方がその年度の対象者となります。

②60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の周りの日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方。
*既に肺炎球菌予防接種（ニューモバックスNP）を接種したことのある方は、対象外です。

●● 高齢者肺炎球菌予防接種は任意予防接種でも接種可能です ●●

幌加内町では定期予防接種の対象とならない方についても、任意予防接種で接種することができます。

接種料金	無 料
対 象 者	70歳以上（過去に接種したことのある人は、通常5年以上の間隔をあける必要があります。医師と相談してから接種してください。）

予防接種は町立幌加内診療所、各診療所で受けることができます。

町立幌加内診療所（電話：35-2321）に事前に予約をしてから受けられますようよろしくお願いします。

予防接種に関するお問い合わせ

保健福祉総合センター「アルク」すこやか保健係 保健師 電話35-3090

日本脳炎予防接種のお知らせ

北海道内でもわずかではありますが感染の可能性があることなどから、平成28年度より日本脳炎予防接種を定期予防接種として実施することとなっております。日本脳炎ウイルスに対する確実な免疫をつけるため、予防接種を受ける必要があります。

○日本脳炎とは？

日本脳炎ウイルスを持つ蚊が人を刺すことによって感染する病気で、7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を呈する急性脳炎を引き起こします。

○接種対象者と接種期間

日本脳炎予防接種は、1期の初回接種2回と1年後の追加接種1回、2期の接種1回の計4回の接種で終了となります。

標準的な接種期間	定期接種対象者
1期 3歳以上4歳に達するまでに1、2回目を接種 4歳以上5歳に達するまでに3回目を接種 ※接種間隔は1回目から2回目6日～28日、2回目から3回目概ね1年を過ぎて接種する	1期 生後6か月以上生後90か月に達するまでに3回目まで接種を実施 ※接種間隔は1回目から2回目6日以上、2回目から3回目6か月以上となります。
2期 9歳以上10歳に達するまでに4回目を接種	2期 9歳以上13歳に達するまでに4回目を接種

○特例制度対象者

北海道では、これまで定期接種を行っていなかったことから、上記以外の年齢の方も特例で接種勧奨しております。

特例制度対象者：平成21年4月1日以前に生まれた者で、9歳から20歳未満の者

*ワクチンを安定して確保するため、希望者が集中しないように順次個別に案内をしておりますが、対象者であれば接種することは可能です。

○問い合わせ先

接種を希望される方は、事前に予約が必要となりますので町立幌加内診療所（Tel:35-2321）までご連絡ください。また、やむを得ない理由で町外の医療機関で予防接種を希望される方（住民票が幌加内町にあり、町外に在住のお子様等）は保健福祉総合センター「アルク」すこやか保健係 保健師（電話:35-3090）までご相談ください。

~Best Shot!~



2月27日 1年生笹和紙すき体験
今年度も卒業証書用の笹和紙すきを行いました。最初は慣れないことにとまどっていましたが、全員きれいに紙をすくことができました。2年後胸を張って受け取ることができるよう改めて学校生活を頑張ろうと決意しました。



3月1日 第62回卒業証書授与式
先月号でもお伝えした通り、17名全員が自分の進路をしっかりと決めて幌加内高校を巣立っていきました。卒業生にたくさんのあたたかいお祝いのお言葉をありがとうございました。



3月23日 修了式・離任式
修了式では、全生徒がたくさん新しいことに挑戦し、成長した1年間を確認できました。離任式では本校を去る先生方に、今までの感謝と別れの気持ちを込めて校歌斉唱で送り出しました。



Best Shot!~今月の写真

平成29年度入学生は幌加内に来て1年が経ちました。慣れない寮生活や学校行事、勉強や部活動などを、持ち前の積極性でやり遂げました。

修了式の後、昨年度限りで幌加内高校を離れる先生方から“縁”の大切さについて最後の授業が行われました。先生方の話に真剣に耳を傾け、自分たちなりに解釈することができました。今年度は2年生、中核として、幌高をますます盛り上げられるように頑張ります。

ご挨拶 校長 永山 鑑造

昨年度1年間ご愛読いただきありがとうございました。

「広報ほろかない」に本校専用ページをいただき、様々なフレッシュな話題を提供することができました。3月1日、無事、卒業生17名を送り出しました。今年は大雪でしたが、全道的に無事、卒業式が終えることができました。

これからも、校訓「和」のもと、生徒一人一人が笑顔で元気に高校生活が送れるように、教職員一同精進いたしますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。改めて「新鮮!とれたて 幌高」を1年間、読んでいただいた皆様に深く感謝いたします。幌加内高校に関わった皆さんに幸せな未来が訪れますように。今年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

お世話になりました! (転出・退職する職員)

教 頭
保 格 秀 規 転出
札幌北陵高校へ

教 諭
宮 原 祐 輔 退職
私立札幌新陽高校へ



事務補
佐 藤 里 佳 退職

溪雪寮副舎監
橋 崎 伸 一 退職

よろしくお願いします! (着任する職員)

教 頭
蓬 田 康 生 昇任
札幌東高校より

教 諭
篠 原 宗 弘 転入
札幌白石高校より

Next Month 4月の予定

- 4月 9日 始業式・着任式・入学式・入寮式
- 10日 朝会・頭髪服装検査
対面式・新入生オリエンテーション
- 13日 身体測定
- 18日 基礎力診断テスト
- 23日 クラス別意見発表週間(~27日)
- 28日 授業参観日・PTA総会・帰省日

記事・写真提供: 北海道幌加内高等学校

お問い合わせ: 0165-35-2405 教頭まで

基礎年金番号と年金手帳について



お客様の基礎年金番号は、「年金手帳」に記載されています。年金手帳は大切に保管してください。年金手帳を紛失した場合には再発行することができます。住民課戸籍年金係またはお近くの年金事務所にご相談下さい。(年金事務所等の窓口で相談をされるときは、身分証や委任状が必要な場合があります。)

※基礎年金番号はメールや電話ではお答えできませんのでご注意ください。

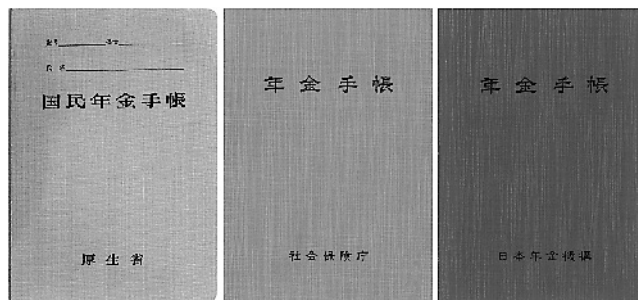
◎基礎年金番号とは

基礎年金番号は年金加入記録を管理するためのキーとなる番号です。

日本年金機構では、原則、1人に1つの基礎年金番号を払出しています。大切な年金加入記録を適切に管理するため、新たに年金に加入される場合には、年金手帳など基礎年金番号が記載されている書類のご提示をお願いします。

◎年金手帳の種類

- (1) 茶色の手帳（写真左）は、昭和35年10月～昭和49年10月に国民年金の被保険者資格の取得手続きをおこなった方に発行されます。手帳の色はおおむね5年ごとに更新されており、茶色以外にも、水色、肌色などがあります。
- (2) オレンジ色の手帳（写真中央）は、昭和49年11月から平成8年12月までに被保険者資格の取得手続きをおこなった方に発行されます。
- (3) 青色の手帳（写真右）は平成9年1月以降に被保険者資格の取得手続きをおこなった方に発行されます。なお、写真は発行者が「日本年金機構」の現在のものですが、平成9年1月から平成21年12月までに発行されたものは、この部分が「社会保険庁」となっています。



◎年金手帳が2冊ある場合

その年金手帳の中に表紙の色が青色のものがあるか確認をしてください。

青色の年金手帳がありましたら、そこに記載された記号番号があなたの基礎年金番号となります。さらに、その基礎年金番号とそれ以外の年金手帳の番号を確認していただき、それらの番号が異なる場合には、年金加入記録が複数に分散している可能性があります。その場合は年金加入記録を一本化する手続きが必要です。

現在厚生年金保険に加入している場合には事業主に、それ以外の場合にはお近くの年金事務所に直接、それらの年金手帳を提出し手続きをしてください。

なお、両方の年金手帳の表紙が青色で、番号が異なる場合は基礎年金番号が二重に払い出されています。その場合も上記と同様に手続きをお願いします。

●詳しくは、お近くの年金事務所または役場住民課戸籍年金係(35-2124)へお問合わせください。●

梶加内町は旭川年金事務所の管轄区域です。

住所：〒070-8505 旭川市宮下通り2-1954-2 電話：0166-25-5589

がん検診を受けましょう

毎年、がんによって亡くなる方は少なくありません。中には、がん検診を受けておらず、検査したときには進行している状態だったという場合があります。日頃から定期的に人間ドックやがん検診を受けて、自分の体の状態を知っておく必要があります。



がんの死亡者と罹患率

●死亡者数の多い部位(2016年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女	大腸	肺	胃	膵臓	乳房

●罹患率数の多い部位(2016年推計値)

	1位	2位	3位	4位	5位
男	前立腺	胃	肺	大腸	肝臓
女	乳房	大腸	肺	胃	子宮

参照：がんの統計16 公益財団法人がん研究振興財団

早期発見は大切！！

全がんの5年相対生存率は、約6割です。早期発見できず、進行したがんであれば死亡率は上昇します。早期発見できれば、助かる時代になっておりますので、定期的に検診等で検査をすることは、とても大切です。

若年層においても罹患する場合があります。職場などで、検診を受ける機会があれば、ぜひ受けるようにしましょう。また、幌加内町でも毎年がん検診を行っておりますので、ぜひこちらもご利用ください。

がん検診のとりまとめを行います

4月に各地区の健康づくり推進員が、検診希望調査を行いますので、希望がありましたら申し込みください。

種 類	日にち	種 類	日にち
乳がん・子宮がん	6/25(月)	結核・肺がん	7/24(火)
			7/25(水)
胃がん・大腸がん	8/20(月)	送迎バス健診 (一般健診、複数の がん検診)	9/11(火)
	8/21(火)		10/18(木)
	2/6(水)		11/8(木)

*送迎バス健診は、平成28年度より実施している健診です。アルクからバスに乗って旭川がん検診センターに向かいます。同日に複数の健診が受診可能です。

*がん検診の対象者は、基本40歳以上です。(子宮がんは20歳以上です。他の検診について希望される場合40歳未満でも受診可能です。)

*検診の詳細については、アルク保健師(電話35-3090)まで、お問い合わせください。

5月の健康カレンダー

●乳幼児・児童に関する行事

乳幼児健診	16日(水)	保健福祉総合センター	受付 12:30～
子育て教室	17日(木)	農業活性化センター	10:00～11:30
乳幼児予防接種	1日(火)	町立幌加内診療所	15:00～16:30
	8日(火)		
	15日(火)		
	22日(火)		
	29日(火)		

●成人・老人に関する行事

老人健康相談	2日(水)	母子老人クラブ	10:00～11:00
	9日(水)	添牛内老人クラブ	9:00～10:00
	10日(木)	幌加内老人クラブ	10:00～11:00
	14日(月)	政和老人クラブ	10:00～11:00
	23日(水)	朱鞠内老人クラブ	10:00～11:00



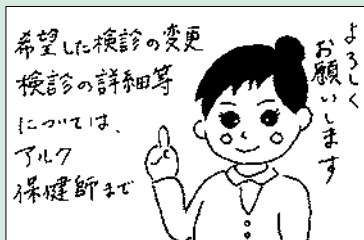
○母子健康手帳および妊婦一般健康診査受診票の交付は、アルクで行っております。妊娠がわかりましたら、早めに交付を受けてください。また、来所の前にアルクへご連絡いただくと交付がスムーズです。

○肝炎ウイルス検診を実施しています。対象者は、40歳以上の方で過去に検診を受けられたことのない方です。検査を希望される方は、事前にアルク保健師までご連絡ください。

健康まんが

第219回

「がん検診とりまとめにご協力ください」



学校開放

今年度も下記のとおり、学校開放をいたします。

町内の学校体育施設を広く住民に開放し、スポーツ・レクリエーション活動の推進と明るく豊かな地域づくりの推進を図ることを目的としていますので、多くの方の利用をお待ちしています。

【期 間】平成30年4月～平成31年3月

【開放時間】学校行事に支障がない範囲で開放

【使用申込】教育委員会社会教育係

(☎ 0165-35-2177)

	開放日	5月～10月	11月～4月
校 庭	平 日	午後5時～ 午後9時	
	上記以外の日	午前9時～ 午後5時	午前9時～ 午後4時
体育館	平 日	午後5時～午後9時	
	上記以外の日	午後1時～午後5時	

巡回図書

巡回図書は、町民にきめ細かい読書サービスに努め、図書利用の促進と読書活動の普及に努めることを目的としております。リクエストにより各ステーションへご希望の図書のお届けもいたしますので、多くの皆様のご利用をお待ちしています。

【日程】毎月2回（平成30年4月～平成31年3月）

詳細日程は巡回先に掲示するカレンダーをご覧ください。

【場所】・ふたばクラブ

- ・政和コミュニティセンター
- ・添牛内コミュニティセンター
- ・特定非営利活動法人 よるべさ（朱鞠内）
- ・朱鞠内みゆき保育所
- ・朱鞠内小学校
- ・母子里コミュニティセンター



図書室だより



◆平成29年度ベストリーダーのご紹介

昨年度1年間で最も利用が多かった本をご紹介します。

【一般書】

第1位 素敵な日本人 東野圭吾／著（光文社）

第2位 コーヒーが冷めないうちに
川口俊和／著（サンマーク出版）

第3位 ナミヤ雑貨店の奇跡
東野圭吾／著（角川書店）

【児童書】

第1位 トムとジェリーのすうじの迷路
鈴木みのる／作画（河出書房新社）

第2位 恐怖 150%!! 超こわい話スペシャル
絹華／作（ポプラ社）
トーマスのひみつ 100 （ポプラ社）



◆おはなし会休止のお知らせ

参加者の減少に伴い、誠に勝手ながら4月以降のおはなし会を休止させていただきます。ご理解の程、宜しくお願いします。

◆雑誌タイトルの変更のお知らせ

4月から図書室に置く雑誌が変わります。変更タイトルは下記のとおりです。

継続雑誌タイトル

- ◆ESS E（エッセ）
- ◆月刊クーヨン
- ◆きょうの料理
- ◆サライ
- ◆婦人公論
- ◆すてきにハンドメイド
- ◆ダ・ヴィンチ
- ◆きょうの健康
- ◆チャント
- ◆ひよこクラブ
- ◆文藝春秋

新規雑誌タイトル

- ◆リンネル
- ◆暮しの手帖
- ◆BE-PAL（ビーパル）
- ◆ナショナルジオグラフィック日本版
- ◆男の隠れ家
- ◆JJ（ジェイジェイ）

生涯学習カレンダー

4月	5日㊥	幌加内中学校入学式	幌加内中学校	13:30～
	6日㊤	幌加内小学校入学式	幌加内小学校	10:00～
		朱鞠内小学校入学式	朱鞠内小学校	10:00～
	9日㊦	幌加内高校入学式	幌加内高校	13:30～

議会だより

No.192

編集：議会広報特別委員会

平成29年 第3回臨時会(11月15日)

11月15日に開催され、承認2件、議案2件が提出され原案の通り決定しました。

こんなことが 決まりました

第4回臨時会を開催！

(H29年11月15日)

専決処分

○専決処分した事件の承認について(平成29年度幌加内町一般会計補正予算(第5号))

・10月22日執行された第48回衆議院議員総選挙に係わり433万5千円を補正。

○専決処分した事件の承認について(平成29年度幌加内町一般会計補正予算(第6号))

・9月19日、北部地域を中心とした大雨により母子里クリスタルパーク内の河川が氾濫したため河川の法面、管理用道路改修等により33万5千円を補正。

財産の取得

○医師住宅の財産取得

・財産の種類

↓医師住宅 4LDK 1棟

1戸 木造2階建て 延床

面積224・7平方メートル

ル

・契約の方法

↓公募型プロポーザル選定審査に基づく買取契約

契約の金額

↓4368万6千円

・契約の相手方

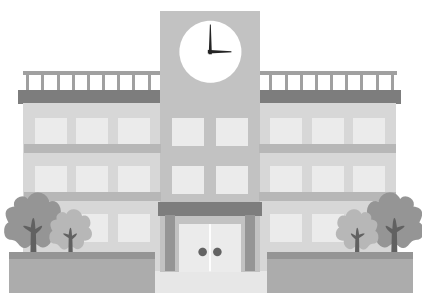
↓代表者事業者 三津橋建設株式会社 構成員 株式会社

社橋本川島コーポレーション

補正予算

○平成29年度幌加内町一般会計補正予算(第7号)

・幌加内高等学校セキユリティー強化対策工事及び幌加内高等学校寄宿舎インターホン設置工事等の増加により663万1千円を追加し、総額4億484万5千円とした。



●議会事務局からのお願い●

議長宛の文書や案内状は、議長公務の日程を調整する必要がありますので、直接議会事務局へ送付願います。

(送付先) 〒074-0492 北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 4699 番地
幌加内町議会事務局宛

平成29年 第4回定例会(12月15日)

12月15日に開催され、3名が一般質問、同意5件、報告3件、議案25件、請願1件、意見書1件が提出され原案の通り決定した。

請願

- 障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書を国に提出することを求める請願
- ・総務厚生常任委員会へ付託し、協議の結果採択された。

同意

- 幌加内町功労者顕彰条例による表彰
- ・被表彰者は、次の5名とした。

川嶋哲夫氏
杉山八重子氏
能代義秀氏
宮川恵秀氏

- 幌加内町産業貢献者表彰
- 本町産業の振興に顕著な功績があった方。

・被表彰者は、次の方とした。
佐藤誠悦氏

条例改正

- 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

・人事院勧告に基づき期末手当の支給割合を年間4・3ヶ月から4・4ヶ月とし、平成29年12月1日から適用する。

- 町長等の給与に関する条例の一部を改正

・人事院勧告に基づき期末手当の支給割合を年間4・3ヶ月から4・4ヶ月とし、平成29年12月1日から適用する。

- 職員の給与に関する条例の一部を改正

・人事院勧告に基づき、1級の初任給を1,000円引上げ平成29年4月1日から適用する。

- 幌加内町営住宅管理条例の一部を改正

・緑ヶ丘団地、11棟22戸、添牛内団地、1棟2戸を取壊したことによる条例改正。

指定管理者の指定

- ・指定管理をしている施設は次のとおり。

- 「老人福祉寮の指定管理者」
↓社会福祉法人幌加内町社会福祉協議会

- 「北部地域包括ケアセンターの指定管理者」
↓特定非営利活動法人 よるべさ

- 「町民保養センター・物産館・農産加工総合研究センターの指定管理者」
↓株式会社ほろかない振興公社

- 「交流プラザの指定管理者」
↓幌加内町商工会

- 「農産施設の指定管理者」
↓きたそらち農業協同組合

- 「ふれあいの家・レークハウス・朱鞠内研修センター・朱鞠内湖畔ロッジ・朱鞠内湖畔公園の指定管理者」
↓シュマリナイ湖ワールドセ

ンター

- 「朱鞠内遊漁者管理・休憩棟・朱鞠内淡水魚種苗生産供給施設の指定管理者」
↓朱鞠内湖淡水漁業協同組合

- 「飲料水供給施設の指定管理者」
↓添牛内自治区水道利用組合

平成30年3月31日をもって、指定の期間が終了するため平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間を全て再指定とした。

補正予算

- 平成29年度幌加内町一般会計補正予算(第8号)

・医師住宅購入費、バーク堆肥原材料費、除雪機械購入費(政和地区基礎集落圏のタイヤドーザー)、幌加内小学校煙突改修工事、学校給食センター煙突改修工事等により2427万7千円を減額し、総額45億8056万8千円とした。

- 平成29年度幌加内町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

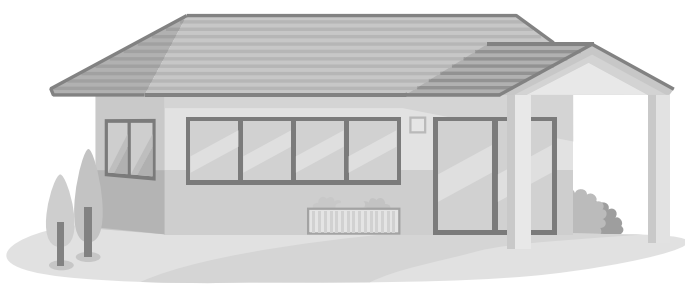
・国民健康保険システム導入負担金等により、1177万4千円を追加し、総額3億2211万3千円とした。

- 平成29年度幌加内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

・事務費負担金の決定、保険料等負担金相殺により244万4000円を減額し、総額2920万5千円とした。

- 平成29年度幌加内町介護保険特別会計補正予算(第3号)

・居宅住宅改修費の追加及びケアプラン作成件数の増加、特定入所者サービスの施設入所者等減により1573万円を減額



し、総額2億192万7千円とした。

○平成29年度幌加内町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

・水質検査業務委託料、水道メーター器取替工事等により、151万4千円を減額し、総額7629万円とした。

○平成29年度幌加内町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

・合併処理浄化槽設置工事、農業集落排水施設機能診断調査業務委託料等により、589万3千円を減額し、総額6708万1千円とした。

報告

○平成28年度幌加内町国民健康保険病院事業会計決算認定について

○平成28年度幌加内町各会計歳入歳出決算認定について

・審議の結果、認定することに決定した。

意見書

○障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書案

・協議の結果、承認した。

一般質問



中川議員

Q 学校給食費の無償化について

A 今後の国の動向を見極めながら検討していく

公立小中学校給食費の保護者負担を全額補助とし

無償にする市町村が、今年度で少なくとも83自治体まで増えている。北海道でも近年、無償化に取り組むところが増え17市町村ある。本町において保護者が負担する給食費は、食材費として小学生1食250円、中学生1食304円であり、年間200日ほど配食をしていると聞いている。無償化となれば小学生、年間約5万円、中学生、年間約6万円の負担軽減となる。無償化の理由としては、子育て支援、若年層定住促進など

に加え給食を教育の一環として捉える、「食育」推進をあげる自治体が増えていると聞いている。本町においても、是非、無償化に向け検討を進めていただきたい。

答弁 教育長

A 本町の学校給食は、昭和54年12月開設。学校・父兄各位の特段なご協力を頂き38年目を向かえ業務も順調な運びとなっている。給食内容は、米飯給食週4回、麺給食週1回とし給食を提供している。現在、家庭が負担している給食費については材料費分だけである。

なお、人件費、施設設備費等については全額町で賄っている。学校給食費無償化に向けた取組だが、滞納者の取り扱いや、集金業務など教員の負担軽減、子育て支援や定住しやすい環境づくりに加え、給食を教育の一環としてとらえる「食育」推進などから無償化の動きが広まっており、文部科学省の調査では、昨年度、全国で約60自治体が無償化を実施している。今年度においても、給食費の無償化については全国的に増加傾向である。国では、今回の調査に

おいて成果や課題をつかみ、支援策の検討などに生かすことにしており、本町においても、今後の国の動向を見極めながら検討していく。

再質問

Q 無償化するにあたっては財源が一番大きいと思われるが、1食あたりの金額を勘案すれば、本町の場合、約500万円ほどになると思われる。

今年の総選挙時にも教育無償化もテーマとなっていた。幼児教育から大学教育まで無償化を進めるのが今の安倍政権の下でも言われている。保育所や幼稚園の幼児教育についても、基本的に無償化を目指すことになっている。細川町長になつてから、保育所の無償化については実現しているところである。大きな捉えであるが、国費が投入され、更に乗せして町単費の額が約1000万円と聞いている。平成19年度または平成20年度から国で幼児教育が無償化となれば、その分充分に学校給食費が賄えるのではないか。具体策を含めて検討できないものか。

再答弁 町長

A 現在、国も子育てづくり・環境づくりに力を入れているところであり、福祉政策の世代間競争とも言われている。給食費の無償化についても、以前から検討をしているところであるがメリットもありデメリットもある。財源確保の問題は、現在、過疎ソフトで対応している。現在、幌加内町の過疎ソフトはマックスであり、今回、この政策を仮に無償化とすればプラスアルファにはならないため、財源は持ち出しにないと考える。いずれにしてもメリット、デメリットの双方を兼ね合わせ検討を進めている段階である。



一般質問



齋藤議員

Q 「第三雨竜橋梁の保存危機を迎えている」

「経費をかけないで残す。強制的な解体は行わず、朽ちるまで残す。」を基本姿勢とする

Q 保存会が発足して14年となる。廃止となった深名線の象徴として第三橋梁の維持や保存が目的であるが、会員の高齢化により存続の危機を迎えている。深名線が廃止となった平成7年以来、全ての路線を始め鉄橋等に至るまで撤去すべきと町の議決事案に対し、撤去間近となった平成15年に町文化連盟・観光協会・政和自治区や町民有志が話し合い、深名線の中で最大の遺構である「第三雨竜

川橋梁」だけは後世に残し、公共交通として果たした役割の証として存続を求め、4年の年月をかけ第三雨竜川橋梁の自然保存の承認を町から受けた貴重な鉄橋である。この運動を実施した方々が中心となり、保存会を設立、第三橋梁の維持・保存に力を注ぐため年間作業、会報の発行、土木遺産の認定、他市町村との鉄橋文化の交流、本町出身者ふるさと会の親睦交流等、保存活動にとどまることなく町の振興・発展に多くの努力をしてきた。保存会のこれまでの活動の評価と、活動できず存続が困難であることが第三橋梁の撤去につながるのか。

答弁 町長

A この14年間にわたる、保存会の活動については精力的な活動があったものと敬意を表する。「保存会の高齢化による活動の存続危機が、第三雨竜川橋梁の撤去につながるか」について、町としては保存会の目的と、その活動に伴い解体撤去を取りやめた経緯があり、遺産としての価値や保存会の活動を考えて、安易に解体に至ることとはない。平成19年に合意した「経費をかけないで残す。強制

的な解体は行わず、朽ちるまで残す。」を基本スタンスとする。保存会だけではなく、スポーツ活動、文化活動などに関して、人材不足が生じているのを肌で感じている。過疎化が進み人がいなくなり一番怖いのはその町の多様性が失われてしまうことに危機感を抱いている。しかし、後継者を育てること自体も当該団体の大切な責務である。今後において、これまでどおり保存会が中心となった活動を継続し、後継者の育成などを含め、他の優良事例となるべく活動を期待する。

再質問

Q 現在の保存会役員と町との間で、十分に話し合える場を設けるべき。町に窓口を設け、将来にわたる「第三雨竜川橋梁」で話し合いたい。保存会の問題を町がどのようにしたらいいのか。検討委員会等を作れないか。

再答弁 町長

A 行政の窓口は地域振興室で対応している。定期的な総会などに担当者が出席しコミュニティを図っている。行政から保存会に投げかけること

はない。しかし、窓口があるので保存会の方が来られコミュニケーションを図ることに關しては、どんどん来ていただきたい。



「第三雨竜川橋梁」

議会の様子をホームページで見ることができます！

議員の活動や広報など掲載しています。
議会ページは町ホームページから見るができます。

一般質問



小関議員

Q 幌加内町中央改善センター改修について

A 利用者からの意見を参考にしながら、改修していく

Q 中央生活改善センターは、昭和44年12月頃より利用され築48年目になっている。立地、規模等、利便性が良く地域にとっては多目的施設として需要度の高い公共施設として活用されている。しかし、老朽化にともない修理、改修など住民要望が度々出ていたと認識している。町政懇談会では、平成31年度の取り壊し計画にあわせ代替施設建設計画を作成していくとの事だが、仮に代替施設が整備されるまでの経過処置として、この施設管理責任の立場

においても、改修等が緊急な課題と考える。

1点目として、玄関ホールの床タイルが剥がれている箇所が多く、転倒等により身体的障害を起こす恐れが危惧される。また、見た目にも見苦しく、補修されるべきであり、玄関ドア周囲床面の滑り止め処置等の対策が必要ではないか。

答弁 町長

A 中央生活改善センターについては、昭和44年11月建築、47年が経過している。昭和56年の建築基準法改正で、「震度5強程度の中規模地震でほとんど損傷しないこと」、また、「震度6強から7に達する大地震で倒壊・崩壊しないこと」と定められており、その基準には達していない施設である。このため、町の施設整備計画では平成31年度に取り壊す計画として

いるところであるが、この年度に取り壊すことにこだわることなく、中央公民館の耐震化や病院跡地の利用なども熟慮し、現行の計画より1、2年程度は延命させても良いと考えている。1点目、玄関ホール床タイルの剥がれは、町政懇談会においても要望があり、利用者の事故も

懸念され、当初予算に計上し補修を行う。また、玄関ドア周辺の床面滑り止めの処置については、利用者からの意見も参考に検討していく。

Q トイレ洋式化への取り組みについて

A 将来的には取り壊す施設のため、役場庁舎等を利用してもらいたい

Q 中央生活改善センターの来訪・来場者に障害のある方が車イスでトイレを利用しようとしたが、出入口が狭く利用ができなかった。加えて使用できるトイレが和式用しかなく洋式用が未整備になっていることに対応を取組むのか。

答弁 町長

A 多目的トイレの整備について、水周りを含めたトイレ改修になると高額な費用も発生することから見合わせている。近い将来、取壊す施設のため利用者の方には大変不便をかけるが、役場庁舎玄関は段差に対応するスロープが備えてあることから、役場庁舎のトイレを利用してもらうよう周知してい

く。

Q 代替施設、農業活性化センター「アグリ」の活用について

A 冠婚葬祭等に活用が有効と考える

Q 施設管理の不備が住民サービスへの本当の向上となっているのか。中央生活改善センターについては、耐震化問題等がネックになっているが解体方向であるとの認識をしている。代替施設となっている施設が過去に建設されているが、この代替施設の利用法について、どのように活用をしていくのか。

答弁 町長

A 代替施設については、冠婚葬祭のポスト、中央生活改善センターとしては既に建設をして運用している、農業活性化センター「アグリ」が中央生活改善センターの代替施設としている。家族葬など小さな葬儀などは現在、「アグリ」で対応している。これから計画を立てることになるが、冠婚葬祭の代替施設については「アグリ」が

有効であり、整備されていない必要な物を改善しながら中央生活改善センターの代替施設として整備していくのが、もっとも現実的ではないか、あるいはコストパフォーマンスから一番良い方法ではないかと考える。



「中央生活改善センター」

決算特別委員会

平成28年度決算審査：

全て認定!!

平成29年度第3回定例会において「決算審査特別委員会」に付託された、一般会計をはじめ各特別会計、並びに病院事業会計までの28年度決算は、それぞれ厳正に行った結果、全ての決算は認定すべきと決定しました。

委員審査での質疑を抜粋し、次のとおりお知らせいたします。

・決算審査日 平成29年10月23日～26日（4日間）
・特別委員会委員 議員7名（議長、議選監査を除く）

一般会計

企画費

中川議員

Q 木質バイオマス等導入可能性調査業務委託料の関係だが、以前、総務厚生常任委員会でも報告を受け、その時点では、調査中であるとの報告だった。その後、調査研究での結果がどうだったのか概要報告願いたい。

地域振興室主幹

A

この調査業務の目的だが、本町の地域特性を活かした木質バイオマス燃料を検討し、燃料を製造する一連の事業について対象施設ごとに評価、経済等の検証を行うことで実施した。その結果、概要として森林バイオマスとして未利用材、間伐材。これを木質バイオマスとする。農業残渣としては、「そばがら」としたものを検討していた。その結果、木質バイオマスについては、調達コストや運搬費を考慮し、調達可能量は年間165トン程度。「そば

がら」については、現状、年間150トン程度の推定がされるとの調査結果となった。しかし、この保存量では、消費カロ

マスの導入については、当面見送るとの判断をした。

商工振興費

田丸議員

Q プレミアム付商品券発行補助金についてだが、昨

年からホクレン商事においても商品券が使用できることになったが、それに伴い20パーセントのプレミアム消費券の売行き、また、町民の反応など、どの様に捉えているのか。

産業課長

A

昨年、ホクレン商事も対象としている。売行きについては、前期、後期の2回にわけて発行しており、全体5,000セットとし販売総数としては変わっていない。このため、消費が伸びているとは感じてはいない。しかし、ホクレン商事で使いたいとの声が相違あったことから対応し利便性は図られたと思っている。

しかし、プレミアム商品券については商工会内でも使用される商店に偏りがあるとの声も聞いている。それについては、今後商工会と中身のあり方等について、議論しながら次の事業

に取組んでいきたい。

観光費

中川議員

Q

ふるさと納税謝品585万4735円の決算となっているが、返礼品はどのような内容となっているのか。

産業課長

A

返礼品の中身として、大きく占めているのは「そば製品」である。乾麺、生めん等を出している業者自体が相当数あり、そば粉を含めて数多く出している。昨年の秋には、農作物、ジャガイモ、カボチャも出している。これについては、出してから1ヶ月ではほぼ完売している。また、朱鞆内湖ワールドセンターではフィッシング体験ツアー、まどか等の宿泊などアクティビティにも若干、使用しているところであり、その返礼品に対しての、希望もかなりの件数がある。

塵芥処理費

小関議員

Q 焼却炉の関係についてだが、建設されてから相当年数が経過しているものと思われる。平成28年度決算も修理費が計上されているが、今後どこまで修理が可能なのか。焼却炉の更新を含めた検討はないのか。

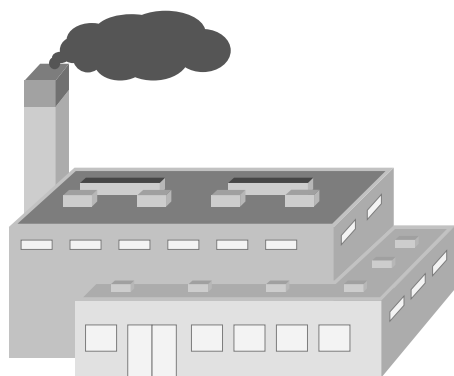
A 焼却場については、平成19年から供用開始をしている。焼却は止めることができないことから、毎年、必要箇所の補修をしている。全体の更新となると、建設場所等の問題がある。まだ10年なので補修をしながら長く使用していきたいと考えている。平成30年度に向けて修理箇所が出てくるが、予算時に説明をする。

住民課長

Q 比較的、新しい形の焼却炉だと思われるが、他の自治体では平均的にどのくらいの耐用年数としているのか。

中川議員

比較、新しい形の焼却炉だと思われるが、他の自治体では平均的にどのくらいの耐用年数としているのか。



住民課長

A

ゴミを燃やす時間帯に町の情報等は現在、持っているため、はっきりとした回答はできない。本町の施設については、なるべく点検しながら長く使用できるよう職員で対応しているの理解願いたい。

国民健康保険特別会計

中川議員

Q 医療給付費が全体として昨年より、かなり下がっていることは良いことである。考えられる要因として、特別な手当てや給付の基準が変わったことなどがあるのか。

A 入院件数が減っていること及び被保険者数が総体的に減っていることで、その分の給付額が下がっている。

住民課主幹

Q 滞納繰越分についてだが、当年度末で340万円程繰越がある。来年度から国保の体制が変わり都道府県化されるが、繰越分が今後、どうなっていくのか非常に気になる。どこである。特に来年を見据えて、どのような扱いになっているのか。

中川議員

A 平成30年度からの都道府県化による滞納繰越分であるが、都道府県化になっても徴収事務は町で行わなければならないことから、今までと同じように督促、徴収事務等、また事

住民課長



務処理等は行っていないかなければならないものである。イメージ的には、同じように対応していく。

★ 議会を傍聴してみませんか ★

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。傍聴の手続きは簡単、受付簿に「住所」「氏名」を書いていただければ結構です。

議会の
開催時期

・第1回定例会 3月中旬
・第3回定例会 9月中旬

・第2回定例会 6月中旬～下旬
・第4回定例会 12月中旬～下旬

議会事務局／役場3階 ☎ 0165-35-2121 (内線373)

わたしの一言



幌加内町税経対策協議会長

中西 博さん

出が遅くなってきたと思われます。

我々税経としては、会員の皆様が納得して申告して頂けるようスタッフ全員で誠心誠意対応させていただいております。

少し昨年を振り返ってみると、積雪は平年並みの中、雪解けも早く温床づくりは楽な方ではなかったのかなと思います。また水田の耕起も順調に進み田植えも早く終わったぐらいです。ただ此処からが天候不順となり、そば等の畑作物には、いつ耕起して播種したか、またはいつ刈り取りしたかで収穫量に違いが大きい年でした。それに伴い、会員の皆様の申告への進捗状況は大いに違うほどになっております。申告書作成のうちに、何をして収量が上がったのか、また何が失敗したのかをお聞かせいただけるのでは役得ではないのかなと思うところです。

話は変わりますが、今作は良い年であることを願うところではあります。が、今年度よ

り米の生産調整等を国政でしなくなり、市場の状態を見て各農協、自治体で生産調整をそれぞれしなさいとのことなので我々農家自身も市場の動向をみることを覚え、また需要の求めるものを作ることを今以上に進めていくようにしなければならぬでしょうし、やっていきたいと思いますが、事売るといことは農業者が一番苦手ではないでしょうか。今は希代のリーダーが、孤軍奮闘して需要との駆け引きをしていただいておりますが、今後同じようなリーダーが現れる訳ではないので、どうなるか不安でしょうがありません。私自身も微力ではありますが助力していきたいと思います。

農業者も少なくなり誰もが役務をしなければならぬ時代となつていますが、それでも一部の人たちに無理をさせている、このようなことをしていると自身の経営と、また関わった組織の運営と業務に日々を追われ疲弊していき、わが町全体に良いことはない

のだろうと思うところではあります。しかしながら名案など浮かぶ訳もなく、また能力も人望もないものですから只々日々を流されているだけです、幌加内の農業は大丈夫でないかと思うこともあります。若い農業者と話していると彼らのヤル気と知恵は、当時の私など恥ずかしくなるほどのものですし、彼らの意見を聞くとまだ新しいものになった腰を上げていることもありました。

若手育成も税経対策協議会の役目ようになってきている状態になってきています。が、若手自身がお互いの意見交換をしながら、また切磋琢磨しながらよき農業者へと向かって行っているようにも感じております。私としては、先輩たちが作ったこの場所を見守り維持していくことかなと思うところです。

思いのたけを文章にしたため、大変読みづらいものとなりましたことをお詫び申し上げます。

3メートルを超え、マスクも連日取材に来るほどの、記録的豪雪により毎日の除排雪でのお疲れの中、目を汚してしまうような文章で申し訳ございません。私自身も休みなく降る雪を除雪して、ここ最近では身体もしっかり精神的にも疲れがきているところです。このまま5月中まで雪が解けてくれるのか、今年の作付ができるのか要らない心配もしておりますが、できれば行政、関係機関のご助力をいただければありがたい限りです。

私が所属しております「経協議会」において所得税と消費税の申告の補助業務も佳境となってきました。

私が所属しております「税経協議会」において所得税と消費税の申告の補助業務も佳境となってきました。

白色会員の大先輩の方々の申告書の作成補助は無事終わ

り、後は青色会員の方々ですが、ここからが大変です。事前に提出頂いた青色決算書の間違いを確認し、修正後申告書への記載へと進めていくのですが節税のため、悩まれているのか中々申告まで進まない方がおられるところです。私が税経にお世話になりました頃は、各地区の青色相談員の指導により記帳し期日を指定して申告書作成を大会場にて作成提出をお願いされておりましたが、ここ10年間ほどは事務所に来ていただき税経委員の指導、補助を受けながら、個別に作成していくシステムに変わりました。このシステムに変更して当初は期日までに作成提出頂いておりましたが、ここ数年は控除等の添付書類の多さにより提

我が家の アイドル!



海沼 伶(れい)ちゃん

平成29年5月9日

父 一郎
母 恵里子

とても甘えん坊の伶！特に
お姉ちゃんとは一緒に遊びたく
て仕方ありません。お姉ちゃ
んの後に付いて行つて、並べた
ぬいぐるみをモグモグ。おま
まごとセツトもガシヤン！
その度にお姉ちゃんに怒ら
れますが、へこたれずハイハイ
で付いていきます。
最近では、テレビを見なが
ら踊るお姉ちゃんと一緒に手拍
子するのが、お気に入りです。

今月の表紙 卒業～旅立ちの日に

幌加内高等学校の卒業証書授与
式が3月1日(木)に執り行われま
した。卒業生を代表し、前農生会
長の石川朋佳さんが「自分の将来
は環境では決まりません。自らの
志と出会いにより、目標が達成で
きると私たちは学びました。そし
て何よりも幌加内高校に通えた毎
日は幸せでした。」と言葉を送り、
卒業生17名がそれぞれの未来に
向かって旅立っていきました。



おくやみ申し上げます

2月2日 高橋 きよ 様 88歳

ご厚志に感謝します

◆社会福祉協議会に◆

2月13日 高橋 孝男 様
(母、きよ様の葬儀に際して)

Public Relations Magazine

Horokanai



広報ほろかない4月号
2018 APRIL No.748

編集室から

保育園、各学校の卒業式にお邪魔させて
いただきました。息子、娘の成長は、家族
にとっても、地域にとっても大変喜ばしい
ものであります。今回ご卒業された方は4
月からは心機一転、新しい環境での生活が
待っています。これからのますますのご活
躍をお祈り申し上げます。

町の人口

Population

(2月末現在)



世帯数 801世帯
(前月比-7)

人口 1,545人
(前月比-8)

男 757人
女 788人

道の駅 クーポン

日頃より、道の駅「森
と湖の里ほろかない」を
ご利用いただきありがと
うございます。道の駅で
は、町民の皆様に対して
毎月クーポンを発行す
ることといたしましたので、
ご利用いただけますよう
お願いいたします。

せいわ温泉ルオント 入浴料

大人500円→400円
子供250円→200円
平成30年5月31日まで有効

※有効期限内、何度でも利用可。
他サービス券等の併用不可
※クーポンは切り取り、ご提示願います。